

管理体制 (組織図)	 <pre> graph LR Manager[管理者] --- SMC[サービス管理責任者] SMC --- LSA[生活支援員] SMC --- Doctor[医師] SMC --- Nurse[看護師] </pre>
年間行事	・避難訓練、防災訓練（４月、１０月） ・虐待、事故防止研修（５月、１１月） ・BCP研修（６月、１２月） 随時：ケース会議、入所判定会議、支援技術に関する研修
その他	利用者においては、不定期でのランチ会。 防災訓練については、可能な範囲で地域自治会とも交流。 法人内のイベントには積極的に参加（芋ほり、恵フェスティバル） 支援員については、感染症対策委員会 虐待防止委員会 身体拘束防止委員会 事故対策（ヒヤリハット）等リスクマネジメント委員会 防災関係委員会等各委員会活動や内部研修の実施 瀬谷区自立支援協議会（代表者会議 交流会議 日中活動支援会議 相談支援会議）への参加 西部地域精神保健福祉就労支援ネットワークへの参加 各研修及び資格取得のための講習等への参加を推進

令和7年度 グループホームりゅうりゅう 事業計画

基本方針	その人らしい豊かな生活を送れるよう「寄り添う支援」に努める					
重点項目	・ 定員満床にし維持する。					
	・ 事業所運営に必要な事項について法令遵守に努める。					
	・ 内部、外部研修等の参加や資格取得等を通じて専門性の向上を図る。					
稼働目標 (利用見込)	年間利用見込（延べ人数） 20 名×365 日＝7300 名 稼働目標 年間稼働目標 20／20 名（目標／定員） 100%					
	4 月	20 名／20 名	100%	10 月	20 名／20 名	100%
	5 月	20 名／20 名	100%	11 月	20 名／20 名	100%
	6 月	20 名／20 名	100%	12 月	20 名／20 名	100%
	7 月	20 名／20 名	100%	1 月	20 名／20 名	100%
	8 月	20 名／20 名	100%	2 月	20 名／20 名	100%
	9 月	20 名／20 名	100%	3 月	20 名／20 名	100%
	予算					
	稼働 100%を目標とし、加算など算定できるものについては適切に申請を行う。支出については物価高騰の影響を受ける給食費、光熱費、消耗品費等の見直しをしつつ経費削減を心掛ける。その他実態に合わせて微調整とする。					
事業内容						
障がいのある方の生活支援 障害のある方が日常生活や社会生活上の支援を受けながら共同生活を送る事業。障害者総合支援法が定める障害者福祉サービスのひとつで、障害があっても自立した暮らしを目指せるようサービスを提供する。 ① 実施日：365 日 ② 対象者：主に知的障害						
サービス内容 (支援内容)						
① 主として夜間において、共同生活を営むべき住居における相談 の他、お風呂、トイレまたは食事の介護などの援助。 ② 調理や洗濯・掃除などの家事の援助。 ③ 利用者の就労先または日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助や助言。						